

卒業論文・卒業研究 作成に関する留意事項 (2013年次生以前対象)

(2017年度秋学期 卒業論文・卒業研究 I & II 同時履修者用)

1. 作成の手続き

- (1) 履修登録期間中に LOYOLA 上で卒業論文・卒業研究 I の履修登録をする。卒業論文・卒業研究 II の履修登録手続きについては、学事センターで確認すること。  
**※専門分野の登録を変更する場合は、必ず変更可能期間内に学部事務室へ申し出ること。**
- (2) 指導教員 (MENTOR) を自分で決め、同教員の同意を得る。〔9月〕  
※ 履修登録以前に同意を得ること。
- (3) 指導教員と相談の上、論文・翻訳のテーマや形式などを決定する。〔10月上旬〕
- (4) この留意事項に添付されている作成届 (2枚) に必要事項を記入し、1枚は指導教員のサインを得て英語学科事務室 (2-830、月~金 8:30~17:00) へ、もう1枚は指導教員へ提出する。その際、自分用にコピーを取っておくこと。  
〔**〆切 11月30日**〕
- (5) 指導教員と連絡を取りつつ論文・翻訳を作成し、卒業論文提出期間に学事センターに提出する。〔提出期間：2017年12月4日~8日午後5時まで〕

2. 作成にあたっての細則

- (1) 卒業論文は英文で作成することが望ましい。和文で作成する必要がある場合は指導教員の許可を得ること。
- (2) 論文・翻訳のいずれの場合も Word を使用すること。
- (3) 論文・翻訳は英文、和文とも A4 サイズ横書きで 30 ページ以上とする。
- (4) 翻訳は日本語訳または英語訳のどちらでもよいが、まだ翻訳されていない出版物を翻訳すること。
- (5) 翻訳は同じ著作を数名で分担してそれぞれ別の部分を訳出することができる。
- (6) 論文・翻訳は、自分用にコピーをとっておくこと。
- (7) 装丁は黒表紙 (各自紀伊國屋書店にて購入のこと) に左綴じとする。学事センター発行の用紙に必要事項を記入の上、黒表紙に貼って提出する。
- (8) 論文・翻訳の評価が「D」以上の場合、6単位が専門分野科目として認められる。ただし、論文と翻訳の両方を作成しても、卒業に必要な単位として認められるのは6単位のみである。
- (9) 論文・翻訳のオリジナルの返却に際しては、各自指導教員に連絡をとること。

以上

英語学科

卒業論文・卒業研究 作成届

(2017 年度秋学期 卒業論文・卒業研究 I & II 同時履修者用)

英語学科長 殿

1. 題名 \_\_\_\_\_

2. 要旨

3. 専門分野 ※専門分野の登録を変更する場合は、必ず学部事務室へ申し出ること。  
すでに登録をした専門分野をチェック☑して下さい。

- 英語研究
- アメリカ研究
- 英国・英語圏研究

4. 主査教授 \_\_\_\_\_ 印

なお、期日までに論文・研究を提出しない時は、「卒業論文・卒業研究Ⅱ」3単位を取得し得ないことに異議ありません。「卒業論文・卒業研究Ⅰ」3単位の取得については、指導教員の判断に従います。

2017 年 月 日

学籍番号 A \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

英語学科

卒業論文・卒業研究 作成届

(2017 年度秋学期 卒業論文・卒業研究 I & II 同時履修者用)

主査教授 殿

1. 題名 \_\_\_\_\_

2. 要旨

3. 専門分野 ※専門分野の登録を変更する場合は、必ず学部事務室へ申し出ること。  
すでに登録をした専門分野をチェック☑して下さい。

- 英語研究
- アメリカ研究
- 英国・英語圏研究

なお、期日までに論文・研究を提出しない時は、「卒業論文・卒業研究Ⅱ」3単位を取得し得ないことに異議ありません。「卒業論文・卒業研究Ⅰ」3単位の取得については、指導教員の判断に従います。

2017 年 月 日

学籍番号 A \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_